

令和 2 年度 校長通信

立志だより



～笑顔の登校 満足の下校～
与那原町立与那原中学校
発行者 校長 東江功子

研究授業第27号

12月18日(金)の4校時に2年1組で大城開先生による英語の授業がありました。

めあて:「一番〜だ」という表現するには?



本校の英語の授業は帯活動として1分間のペア活動を実施しており、生徒達はペアでお互いの発表を聞き合いながら学習を進めることが定着しています。

開先生の授業は、大変テンポがよく、歯切れのいいメリハリのある授業でした。パワーポイントも上手に使用して、本時のめあてである最上級の文法について理解、活用させながら表現方法を身につけさせていました。



初任者研修授業より

12月17日に、初任者研修示範授業として中村謙太先生の授業がありました。
めあて:みんなが「働きやすい社会」とはどのような社会だろうか?自分の言葉で説明してみよう。
本時は、現在の資本主義社会における労働者問題(3つの課題)をエキスパート活動(資料を活用して考え、自分お考えをペアでまとめる)→ジグソー活動(各課題についてシェアしていく)授業展開でした。

- ☆ 〇非正規雇用問題(賃金の格差、転職問題)
- 〇女性と労働(育児問題や労働賃金)
- 〇現代の労働問題(有給休暇取得率)



←
ジグソー形式で発表し合う生徒達
★ 自信を持って発表していました

「働きやすい社会とは?」という課題に対する生徒達の考えを全体で共有し、まとめています。



初任者牧門先生の道徳の授業

12月18日(金)2校時



主題:「公平に接すること」について考えよう。

「変わっている」「空気が読めない」という表現で友人「ヨシト」に対する偏った見方や不公平な態度をとっている同級生に同調する自分から自分の弱さ

に負けず公平に接する決意をする主人公の姿を通して「共感」し、正義を重んじ、差別をなく走とする態度を育てる授業でした。机間巡視から生徒の声をしっかり拾い発表させていました。また、初任者らしく細かい工夫もあり、頑張っていました。

研究授業第28号

12月22日(火)5校時は、1年1組で野原太地先生による社会の授業がありました。

めあて:蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくらうとしたのでしょうか。



【↑冠位十二階についてパワーポイントで説明する太一先生】

前時に学習した内容を振り返り、飛鳥時代の2つの勢力争いの背景や中国(隋)の影響などを年表や学習資料から読み取り、ワークシートを活用して飛鳥文化についてまとめていく授業展開でした。野原先生の授業反省にもありましたが、内容が少し盛りだくさんだった気がしました。しかし、生徒達は真剣な態度で授業に臨み、資料などをよく読んで各課題について考えていました。good!

